

第2回 公共施設の将来のあり方を考える市民対話<伊王島・香焼・深堀エリア>

【アンケート結果/回答者 43人】

No.	項目	ご意見・ご感想
1	対話の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設配置の考え方で、廃止、活用ありきの説明と、うやむやの件は民に問うと、方向性がとれていないと思った。
2	グループ協議について	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地区同じ年代の方々との話し合いはよかったと思う。 ● 地域ごと固定しなくてランダムに入れ混じてよかった。
3	施設について	<ul style="list-style-type: none"> ● 深堀の公共施設がどうなるか楽しみ。 ● 是非地元の歴史を踏まえた施設（資料館）がほしい。深堀の歴史は600ページを超える本も出版されているし、最近でも新しい歴史事実が判明している。 ● 公共施設はたくさんあるのにあまり活用できていないのが現状なのかなと思った。どう利用していいのかわからない部分もあるので、もう少し自治会などを通して回覧したり、学校よりプリントを配布して子どもから高齢の方まで利用できたらなと思った。 ● 利用されていない公共施設は早期に売却を含めた処分をした方が良いとの意見が多い。 ● 交通機関の見直し。公共施設を整備するには総合的に。 ● 深浦市営住宅はK-1～K-7棟であるが、人数を確認の上、2棟か3棟に集約し、生活環境の整備が不可欠と考える。 ● 香焼地域センターの利用としては、まずは図書室を移す事とし、合せてこれからの生活スタイルに合った交流の場と新しい産業構造の開発の場とすべき。 ● 香焼総合公園は、10万坪と外県にないものがある。これを放っておく手はない。町、内外から今以上に使用度を増やしていくべき。これほどの自然環境はない。 ● 香焼公民館の別館については、これからの時代、自分の町は自分達の力で生きるための拠点とするのも一案である。 ● 多目的な活用をするための改修はしてもらいたい。
4	対話全体について	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな意見が聞けて新しい発見もあり勉強になった。 ● 地元の未来が明るくなるように、これからも考え続けたい。 ● こういう話し合いの場がないと、自分の住んでいる地区のことはなかなか話せない、考えることがないので良い機会を作ってもらってありがたい。 ● 公共施設が少ないので活用法と言われても話しようがない。 ● 今回の市民対話が無駄にならないように、話し合いだけに終わらずに、是非今後につなげて頂きたい。 ● たくさんの意見、ああしてほしい、こうしてほしい、こうなれば

		<p>いいなどの良い意見。ムダにならないよう実現してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● こんな会に出合う度に自分達の地区に施設の少ない事を思い知らされるのが辛い。 ● 適正配置の根幹（根拠）がわからなかった。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が主役となってお世話のできる人を増やしていき、支え合っていく生きがいの日々になれば。 ● 簡単な問題ではないだろうが、人のためになる使い方や呼べる施設に作り替える（ソフト・ハードなど）。 ● 金のことばかりでなく、喜ばれる箱物にしたい。 ● 小さな公共施設についても不要なものは減らしているのに、大きな箱ものは作るのか。M I C Eは必要か。 ● P・D・C・Aのサイクルがやはり大事だと思った。伊王島・香焼・深堀それぞれ3地区の協力、関わりがもっとできればと思う。